

学術研究推進助成実績報告書(中間・完了)

平成26年 9月16日

公財岡山工学振興会

代表理事 小西 忠孝 殿

(所属機関名) 岡山大学大学院自然科学研究科

(申請者名) 藤井正浩



※研究期間に応じ、報告書の中間・完了のいずれか該当のものを○で囲ってください。

研究題目	歯車設計技術の高度化に関する研究	
研究期間	2012年9月～2014年8月	
共同研究者	氏名	所属機関(職名)
	該当なし	
研究題目についての研究発表	発表した学協会名と期日	発表した会誌等
	日本機械学会2013年度年次大会, 2013年9月 MPT2013 シンポジウム<伝動装置>, 2013年11月	Proceedings of The 5th International Conference on Manufacturing, Machine Design and Tribology, p.154 (2013)
研究概要	<p>産業用の種々の分野で用いられている歯車装置の小形・軽量・高強度化, 低損失化, 高信頼化のため, 歯車技術を強度や性能面で更に進化させることが必要である。このため, わが国では軽んじられがちな歯車技術の高度化のための方策, すなわち, 歯車の設計, 製造と評価に関する技術の高度化を目指して研究開発を行う。</p> <p>本研究では, 軸受鋼および浸炭硬化鋼の面圧強度に及ぼすショットピーニングの影響, 浸炭硬化歯車の疲労強度に及ぼす歯面形状の影響, および歯面研削仕上げ後に浸炭硬化した歯車の面圧強さについて検討した。</p> <p>本研究の成果は, 自動車産業のみならず航空機産業への展開を目指す岡山県下の多くの企業のものづくり技術の高度化に貢献できるものである。</p>	